



若い教師のための

あすなろ塾 第4回 平成30年8月25日(土)



本年度最終回となる、第4回「若い教師のためのあすなろ塾」が実施されました。夏休み最後の土曜日でしたが、21名の先生方が参加しました。これからの授業づくりに必要な視点、『「主体的・対話的で深い学びの授業」の授業づくり』と『「能動的に考える」授業づくり』について学びました。真剣な表情で講話を聞くとともに、意欲的に演習に臨む姿が見られました。

研修1：資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学びの授業」の授業づくりについて



これからの時代に求められる資質・能力について考えた後、それぞれのグループで、今後必要とされる資質・能力についてカードBS法を用いながら話し合いました。後半は、主体的・対話的で深い学びを実現するためにどうしていくか、思考ツールを使って今後の授業改善を行う上でのポイントを考えました。



研修2：「能動的に考える」授業づくり



最初は、能動的な授業づくりのためにできることを、カードBS法を用いて考えました。その後、グループで発表し合い、能動的になる働きかけをについて意見交換し、これからの授業に活かそう働きかけについてを行いながら積極的に話し合いました。



研修生の声



○2学期の授業に向けて、生徒に対し発問を場面ごと段階ごとに使い分けることで、より深い学びの授業にしていきたい。

○主体的・対話的で深い学びにつなげるためには、教員の言葉、教材・教具、学習形態の工夫等が必要であり、どういう視点で行ったらよいか勉強になった。生徒のことを考えて授業づくりをしていこうと思う。

○とにかくやってみようと思います。授業の中で、生活の中で、子どもとの関わりなどで実践して、効果や反応を見て、自分の受け持つ子ども達の成長のために、自分も成長、進化していきたいと思う。

○自分の思考や視点の偏りを知ることができた。不足している考え方や、見方を改めて身に付けていこうと行こうと思った。